

すべての女性が輝く明日のために

JAUW会報

第252号
2014年7月



一般社団法人
大学女性協会



上段：第3回定時会員総会 都市センターホテル「オリオン」 2014年5月18日（日）
下段：IFUW からキャロラインさんを迎えて（新旧理事引継会）

もくじ

〈第3回定時会員総会特集〉

中村久瑠美会長あいさつ……………	2	世界の女性との連携……………	8
総会議事抄録・講演……………	3	委員会報告 教育・国内NGO・社会福祉・HP ……	9
報告及び懇談・歌舞伎鑑賞・皇居見学…	4	国際奨学生報告・選考結果・音楽会……	10
ジュネーヴからJAUW 総会へ・		支部だより 北から～南から……………	11
委員会統合についての報告……………	5	2014年度シンポジウムのご案内……………	12
守田科学研究奨励賞贈呈式……………	6	2014年度国内奨学生募集のご案内 ほか	
受賞者研究論文概要……………	7		

会長就任挨拶

—女性の自立と国際協調を基軸に— 会長 中村久瑠美



このたび2014年～15年度のJAUW会長に就任しました中村久瑠美です。このJAUWは1946年創設の伝統ある女性団体です。女子の高等教育の向上、男女共同参画社会の推進及び国際協力と世界平和を目指して様々な活動を続けてきました。国際大学女性連盟（IFUW）の加盟団体として、国際会議の参加や国連にも

代表を送るなど、国際的活動をする一方、国内25か所に及ぶ支部をもつ全国組織である点もユニークな女性団体です。

この度突然に本会の会長にとのご推挙を受け、大変驚くとともに、悩みました。歴代会長は立派な方々が多く、私のような未熟者でしかも本職の弁護士としての仕事と両立できるのか等々、躊躇し、固辞したのですが、多くの先輩の方々の熱心なお声掛けには抗し難く、遂にこの大役をお引き受けすることにしました。

ところで私は弁護士として、女性の権利や女性の地位向上を目指して長年仕事をしてきました。女性の社会進出は近年目覚ましいものがあるとはいえ、今なお社会は男性中心です。女性は子を産み、育む使命をもつ一方、仕事や学問の道で、男性と肩を並べていこうというのですから、女性問題は古くて新しい課題そのものです。

世界にはまだ貧困故に教育を受けられない少女や、学問をしたくても叶わない女性が大勢います。我が国では今や大卒女性はエリートとは思いませんが、やはり高等教育を受けた事実は重く、社会に還元すべき立場にいます。JAUWを通じて私たちは互いに手を携えて世界の女性の幸せの為にその持てる力を活かして参りましょう。

具体的活動方針としては、まず阿部前会長の築かれた組織改革を引き継ぎ、その強化を図ります。とくに法律改正

により、一般社団法人に移行したことは重大です。この法人格を有効に活用して、今後様々な事業展開をしていきたいと思います。本部と支部の一体化、本部組織の見直しによる新しい委員会の登場など、前理事会の業績を受け継ぎ、私ども理事会は更なる発展を目指します。

奨学金の授与制度は我がJAUWの誇るメイン事業の一つです。その充実と共に新たなる基金の設立も呼びかけましょう。

男女共同参画社会の推進を目指して、「女性の自立とは？」をテーマにシンポジウムやセミナーを行う予定です。その中で「女性と税制・年金」「女性と法律」など身近な問題を学習することも考えています。配偶者控除の見直しは皆様どう思われますか？男女共同参画を謳いつつ、専業主婦優遇も主張することの矛盾も考えてみましょう。

IFUWからキャロラインさんが2014年5月18日の全国総会に参加されたことは、画期的なことでした。JAUWはIFUWと一体であることをまざまざと見せつけてくれたね。国際協調を図り、世界の女性リーダーとして、私たちも活躍を求められています。特にアジア地区へ教師派遣などで貢献できないかも検討したく思います。

最後に会員拡大を目指しましょう！900名程度にまで落ちた会員数をこの2年間で何とか1000人規模へ拡大したく思います。若い人に限らず、子育てを終えた、仕事に一区切りついた団塊女性らに声かけをして、彼女たちの持てる力を引き出していきますか？もう一点、男性賛助会員を積極的に迎え入れましょう。女性問題は女性だけでやっても限界があります。男性も巻き込んで、男女共同参画社会の推進を図りたく、模索中です。

何分至らぬ会長ですが、幸い有能な副会長お二人の他、有力な方々に理事を引き受けていただきましたので、皆で力を合わせて、より良いJAUWを目指します。どうぞよろしくお願いします。

理事・監事 名簿

会長	中村 久瑠美
副会長	梅田 和子
副会長	縄田 真紀子
総務	桑折 美子
会計	柏木 京子
会計	鈴川 佳子
財務	森川 淳子
CIR・国際ネットワーク担当	山下 いづみ
調査・研究担当	松本 由美子
奨学事業担当	海老根 静江
国際支援担当	海老根 静江
国際支援担当	佐々木 澄子
広報担当	佐々木 澄子
支部担当	中山 正子
支部担当	松村 和子
監事	大森 たへ子
監事	阿部 幸子

2014年度より一部組織変更



第3回定時会員総会議事抄録

日時：2014年5月18日（日）9：30～11：55
場所：都市センターホテル「オリオン」（千代田区平河町）

1. 総会成立確認：田辺総務理事より、2014年5月18日、午前9時30分現在の出席者数115名、議決権行使書提出者数447名、出席者合計562名となり、正会員930名の過半数以上の出席により、総会の成立を確認。
2. 開会の辞：逝去会員8名の冥福を祈って、一同起立、黙祷に続き阿部会長より開会の挨拶があった。
3. 議長選出：定款に基づき、阿部幸子会長が議長となる。
4. 書記選出：今村麻子・早瀬暢子
5. 議事：
 - 第1号議案 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認に関する件：柏木会計理事より、議案書に基づき説明。続いて大森監事より、業務及び会計の監査がなされた旨報告があった。議長は第1号議案についての質問・意見を求めたのち、同議案の承認を語り、異議なく承認可決された。
 - 第2号議案 理事13名選任、並びに会長候補者選出の件：牧島副会長より、議案書に基づき役員選考委員会からの理事候補者推薦について説明がなされ、議長は、理事候補者の選任を議場に諮ったところ挙手賛成118名、議決権行使提出者446名、計564名がこれを承認し、選任可決された。尚、被選任者は、その席上で就任を承諾した。会長候補者とし

総会講演：CSW58（第58回 国連婦人の地位委員会）およびNGO関連イベントに参加して

神奈川支部 石塚 浩美

本年3月、田中正子会員（神奈川支部）、城倉純子会員（茨城支部）、および石塚は、ニューヨークで開催されたCSW58および関連NGOイベントに参加した。特に、城倉会員（案内者として）と石塚、および中島亜花莉さん（国際教養大学の学生、非会員）の3名は、人材育成委員会にご審査いただき渡航補助を受けており、改めてお礼申し上げる。

5月のJAUW総会では、次のように報告した。まず、田中報告「CSWとNGO」は、NGOの観点からCSWの歴史や動向についておこなわれた。特に1995年の北京における第4回世界女性会議以後は、北京宣言と行動綱領の12領域について“北京+20（年）”（2015年）などとして5年毎に実施を加速するため具体的に政策勧告しているということであった。

次に、城倉報告「CSW/NGOに参加して」では、2年連

て中村久瑠美理事が満場一致で承認された。
第3号議案 監事2名選任の件：牧島副会長より、議案書に基づき提案がなされた。
議長は、監事候補者の選任を議場に諮ったところ挙手賛成120名、議決権行使提出者444名、計564名がこれを承認し、選任可決された。尚、被選任者は、その席上で就任を承諾した。
第4号議案 高齢会員の会費免除に関する件：牧島副会長より、議案書に基づき、提案と趣旨説明がなされた。
議長は、第4号議案「会費 年額7,000円、但し91歳以上の会員は会費を免除することができる」とする案について審議を求めたところ、会費免除に関して多数の意見が述べられ、今後運用面に関して検討の余地はあるが、改正案は承認された。（議決権行使提出者 賛成430名 反対17名）

報告事項

1. 2013年度事業報告、2. 公益目的支出計画実施報告及び監査報告、3. 2014年度事業計画及び予算につき各担当理事より報告がなされ、監査については大森監事から報告がなされた。
6. 次期総会開催地に関する提案：阿部会長より2015年度全国総会並びに第4回定時会員総会は仙台で開催する旨提案がなされた。予定日程：2015年5月21日（木）・22日（金）総会・23日（土）研修会 予定会場：仙台国際ホテル（懇親会・支部長会会場、宿泊）、仙台市男女共同参画推進センター（総会会場）
7. その他：阿部会長より逝去された高野フミ元IFUW会長を記念してIFUWに基金を寄付することを提案。総会会場にて募金をおこなった。なお、募金の一部をトルコの炭鉱爆発事故の遺児のための奨学金としIFUWを通してトルコの協会に送付。

続の参加および昨年のご自身の報告という経験に基づいてなされた。まとめとして、日本の国内認識と国連NYとの乖離を埋める必要があることが語られた。

最後に、石塚報告「国連CSW58に参加して」は、①参加動機、②会議の概要、③参加した会議・イベント、④日本NGO主催のサイドイベントの運営参加、⑤感想：今後の行動に向けて、の順におこなった。特に上記③のうち印象深かったのは次の2つである。北欧諸国のサイドイベントが、教育を基盤とした持続可能な社会の構築を通じたジェンダー平等（GE）の実現のためには女性の就業継続が必要であることを提言していた。他のイベントでは、男性や男児を巻き込みながらGEを実現するための手段として、特に若い男性にとって“父親になること”は一人前の成人男性になる重要な機会であることを強調していた。

非常に意義深い日々であった。今後の私のNGO活動および研究・教育にも影響を及ぼすことは間違いない。個人的な意見であるが、関心のある会員の方々が一人でも多く参加して、有意義な経験を共有してほしいと考える。



報告をする 石塚浩美・田中正子・城倉純子会員

総会 午後の部 —講演及び懇談—

総会午後の部では、IFUW から派遣され総会に出席されたキャロラインさんによる「あいさつ」、CSW58に参加した田中正子、城倉純子、石塚浩美会員による講演「CSW/NGOに参加して」（いずれも別記）があり、次いで以下のような報告があった。

- (1) 新理事会の構成（担当）と会長挨拶
- (2) 委員会・支部の活動について 各委員長・支部長

全国総会・第3回定時会員総会 開催報告

運営委員長 牧島悠美子

2014年度の全国総会は東京の都市センターホテルで開催されました。5月17日には支部長会と懇親会が、18日には定時会員総会が、19日には研修会として歌舞伎観劇や皇居見学などが実施されました。

支部長会には全国20支部と理事12名が集まり、各実施事業の収支（会計について）、公益目的支出計画実施報告、委員会の再編についての説明などがされ、活発な質疑応答がありました。続く懇親会には96名の参加があり、西村理事の日本舞踊「たぬき」をキャロラインさんともども楽しみました。

18日の第3回定時会員総会には133名の申し込みがあり、4つの議案すべてが賛成多数で可決されました。その後3事項の報告がされ、最後に次期総会に関する提案があり、2015年5月21日（木）支部長会、22日（金）第4回定時会員総会、23日（土）研修会と決まりました。22日の定時総会会場は仙台市男女共同参画推進センターで、他の行事の会場と宿泊は仙台国際ホテルとなります。今回は会場などの関係で平日日程となります。

午後はIFUWからキャロラインさんの挨拶、講演「CSW/NGOに参加して」、「委員会・支部報告」がありました。

最終日は研修会を各自それぞれに楽しまれたとのことでした。なお、17日の午後には文楽鑑賞もあり、人間国宝最後の舞台を楽しみました。

第3回の定時総会を終え、一般社団法人という新組織も少しずつ定着してきていけば嬉しく、本部・支部との協働事業もさらに活発になればと願っています。



挨拶をする牧島悠美子副会長

研修会 歌舞伎鑑賞について

仙台支部 小関 和子

厳粛な総会の翌日は、新装なった歌舞伎座での芝居見物、江戸情緒を堪能しました。今回は恒例の団菊祭と十二世市川團十郎の一年祭でチケットの入手が困難な時、一年前からお手配下さいました事、感謝に堪えません。

次代を担う海老蔵と菊之助の「観進帳」は圧巻でした。永い歴史を誇る伝統歌舞伎が若手の役者さん達により、新歌舞伎十八番となって受け継がれ発展して行く事に大いに期待を寄せました。有難う御座いました。



—仙台支部の会員5名仲良く並んで—

皇居見学とランチ

新潟支部 長谷川道子

東京でしか見られない所を—and 企画された思いさながらの皇居見学でした。丸ビル36階レストランからの眺め、新装東京駅を中心に各々の思いを運ぶ無数の線路の広がり、目を転じると皇居の森の凛とした光景に目を見張りました。

訪れた皇居は、江戸時代からの古いにしえに触れるに十分でした。樹木の芽吹きが、個々の緑を彩り春の錦を織り成して、私たちが魅了してくれました。「開かれた皇居」への配慮がうかがわれ嬉しいことでした。日本を象徴する皇居が、その自然が乱されること無く護り続けられることを願いました。

ジュネーブからJAUW総会へ IFUW国際関係・会員増強担当 ～キャロライン・スタフルさんを迎えて～

ジュネーブのIFUW本部スタッフのキャロライン・スタフルさんがキャサリン・ベル会長の名代としてJAUW総会に参加しました。到着したその夜、早速懇親会に参加、若さと笑顔で参加者一同を魅了しました。翌18日の総会には国際委員が耳打ちする概要説明を受けながら議事のすべてを観察。進行から組織のあり様まで（とてもきちんとしている）と感じたそうです。午後はトップを切って8分間の発表を行い、今、IFUWはベル会長のもと「中等・高等、生涯教育を通じて女性の権利、平等、エンパワーメントを獲得する」という目的に絞り込み、知名度の再構築と存在感の向上、外部資金の呼び込み、会員により多くのメリット提供を図っている、と述べ、今年のCSWでの活動、会員増強の秘訣なども紹介してくれました。こうして、阿部前会長が事前に出された「IFUWの今後の方向性と国連との関係を聞きたい」という希望と、「JAUWの総会全体を

見ていただく」という方針にしっかり応えてくれました。その夜は青木IFUW元会長を始めとするIFUW総会体験者らと夕食のテーブルを囲み、19日は中村新会長の隣で40名余の会員とともに歌舞伎鑑賞、その後浅草見物などもされ、3泊4日の滞在を終えました。

来日決定が総会直前だったため慌てましたが、国際委員による送迎や付き添いの奉仕、総務・財務理事の手配、会員あがての歓待のおかげで大変よい交流ができ、CIRとして最後にこのような務めが果たせたことに感謝します。

（なおIFUWアップデート6月4日号にJAUWの活動を詳しく伝える写真付き報告が載りました。この翻訳はJAUWのHPでご覧下さい。）

（穂田 信子）



Caroline Staffell, International Development Manager, IFUW

— 委員会統合についての報告 —

二つの力を結集して 女性エンパワーメント委員会 城倉 純子

「女性の地位」および「国内NGO」の2つの委員会が統合され、「女性エンパワーメント委員会」として新たにスタートすることになりました。JAUWの、事業1～4の内容と委員会の活動内容の整合性を図る為と、ジェンダーに関する問題の現状把握や解決に向けて、2つの委員会の力を結集し、取り組みをさらに進めることを目的としています。総会で承認を受けた年間計画にもとづき、①公開講演会の開催（女性と子どもの人権、CSW59のテーマに沿って）、②女性のリーダーシップ研究会の設置（女性リーダー養成講座開催の準備として）、③国際会議参加支援に伴う研修会・報告会の開催（国際ネットワーク委員会と共催）、④支部との協働調査・研究（2012・13年度より継続）の結果を踏まえ、「男女共同参画参社会の推進を阻むものは何か」について「報告書を読む会」として取り組む、などを決め、2委員会の成果を継承し、さらに新たな歩みを創出できればと考えています。これまでどおり、国際婦人年連絡会の分野別委員会参加、日本女性監視機構（JAWW）、及び国際人権規約完全実施促進連絡会議への協力参加も継続、情報交換し、文字通り会員及び広く女性のエンパワーメントに尽力していきたいと考えています。

学び合う場づくりを目指して 国際ネットワーク委員会 鷺見八重子

国際的活動にかかわる事業を担当する「国際ネットワーク」委員会が6月6日（金）第1回委員会をもって発足しました。委員は、従来の「国際」および「人材育成」委員会からの委員を中心に総勢19名。山下いづみCIR理事のもと東京、神奈川、茨城の近県のみならず、静岡、京都、岡山、長崎支部からも参画される多彩な面々です。

活動としては、まずIFUWとの連携が会員に広く伝わるようHPを通じて本部からのニュースを翻訳して逐次アップデートします。皆さま、どうぞ小まめにHPを開いてご覧ください。むろん日本の活動もIFUWおよび加盟61カ国に報告し、ネットワークを支援していきます。

毎年3月にNYで開催されるCSW（国連婦人の地位委員会）への若手参加者を募り、学習会や報告会を開いて国際会議のホットな情報を共有することも大切な活動です。経験豊富な先達の話聞き、現場の雰囲気を知る貴重なチャンスを有効利用していただきたいと思います。

リーダーシップ養成には世代間のコミュニケーションと企画運営に実際に参加することが欠かせません。他の委員会や支部の事業と協働することで出会いの場を広げ、未来を拓く創造性と国際性を磨いていきたいと願っています。

第16回大学女性協会 守田科学研究奨励賞贈呈式



中村会長と両受賞者を囲む関係者

科学研究奨励委員会委員長 今野 美智子

アルカディア市ヶ谷会館において6月14日(土)第16回守田科学研究奨励賞の贈呈式、その後引き続き受賞パーティが開催された。受賞者は、数理生物学分野の佐竹暁子博士とシステムデザイン工学分野の満倉靖恵博士で情報分野では初めてである。

佐竹暁子博士は、1993年九州大学理学研究院生物学専攻を卒業後、引き続き大学院に進まれ2002年同大学大学院理学研究院博士後期課程生物学専攻を修了と同時に博士(理学)の学位を取得された。日本学術振興会特別研究員DC1、PD、特別研究員PDとなり、2007年にはスイス連邦工科大学水圏研究所グループリーダーとして活躍され、2008年北海道大学創成研究機構助教に採用され、2011年には同大学院地球環境科学研究院准教授となられ現在に至っている。これまで、数理統計を用いて植物の開花の機構と予測に成功し、地球温暖化対策への一助になることが期待される。

満倉靖恵博士は、1997年岡山県立大学情報工学部情報通信工学科を卒業後、同大学院修士課程に進まれた。社会人として徳島大学大学院工学研究科情報工学システム工学専攻の博士課程を1年半の短縮で修了と同時に、2001年博士(工学)の学位を取得された。1999年徳島大学工学部の助手、岡山大学教育学部専任講師、東京農工大学大学院工学研究院准教授、2011年慶應義塾大学理工学部准教授に採用され現在に至っている。これまで、制御系設計、マルチメディア信号処理、生体信号解析と広く研究を行い、簡易型脳波計測器の開発に取り組み、脳や生体信号への更なる応用研究が期待される。

中村久瑠美会長の挨拶の中で、これまで32名の受賞者を輩出し、昨年度の肥山詠美子博士の猿橋賞の受賞に引き続き、本年度は、2006年に受賞された一三恵美博士が猿橋賞を受賞されたことが紹介された。賞の授与に引き続き両博士の受賞講演が行われた。佐竹博士は、数理生物学の手法を用いた植物の開花メカニズムや作物の収量予測などについてお話をされ、満倉博士は、装着がきわめて簡単なヘアバンド型の脳波計測器の応用を録画で示され、生活に密着した話題で素人の方にも分かりやすい講演であった。祝賀会には、ご家族と共同研究者にも出席いただき、参加者は親交を深め、終始なごやかな雰囲気、最後に昨年の受賞者大矢根綾子博士と関口仁子博士から花束が渡され終了した。

なお、2014年度科学研究奨励委員会の委員の西澤直子東京大学名誉教授が学士院賞を、稲葉カヨ京都大学副学長がローレル-ユネスコ女性科学賞を受賞されたことは喜びである。



前年度受賞者の関口博士、大矢根博士より両受賞者へ花束贈呈

第17回 大学女性協会守田科学研究奨励賞 受賞候補者募集要項

- 趣 旨**：本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。
- 対 象**：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満(2015年4月1日現在)の女性科学者を対象とします。
- 授賞件数**：年 2件 以内
賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類*

1. 研究題目とその概要、今後の展望および抱負 (A4判2頁以内)
2. 推薦状(厳封)
3. 履歴書
記載項目：氏名(ふりがな)、(英字表記)、国籍、生年月日(年齢)、現住所・電話、所属機関(住所、電話、FAX、e-mail)・職名、(連絡先に○)、専門分野、学歴(高校卒から)、学位、職歴、賞罰
4. 研究業績リスト(主要な論文は○を付記)
記載項目：原著論文(査読付)、原著論文(査読なし)、総説・その他、著書、受賞歴、学会発表(国際学会、国内学会(招待のみ))、競争的資金
5. 主要な論文5編以内の別刷り

*返却いたしません。1. 3. 4. は各15部、2. は1通、5. 論文別刷り(コピーでも可)は3部提出のこと。

応募締切日：2014年11月21日(金)(必着)

選考結果の通知：2015年3月

書類送付先・連絡先：一般社団法人 大学女性協会
〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101
Tel：03-3358-2882 Fax：03-3358-2889
<http://www.jauw.org> e-mail：jauw@jauw.org

錦松梅

東京都新宿区四谷3-7
TEL 0120-03-4837
<http://www.kinshobai.co.jp>

地球環境変化と植物の開花

北海道大学大学院環境科学院 環境起学専攻 准教授

佐竹 暁子



越冬の後、春に開花する植物では、長期間の低温を経験して初めて花芽形成が誘導される。このことは春化と呼ばれ、春まきと秋まき小麦の違いに代表されるように古くから知られていた現象である。近年、春化の分子メカニズム

が解明されたことによって、植物の温度応答の仕組みが分子レベルで次々とわかってきたにも関わらず、自然環境でみられる複雑な温度変化のもとで植物がどのように季節の移り変わりに応答し適切な時期に開花できるのかは、未解明のままであった。

私は、春化に依存して開花時期が決まるアブラナ科植物ハクサンハタザオを用い、室内実験・数理モデル・野外実験という異なるアプローチを統合し、遺伝子発現量に立脚した開花時期予測モデルを開発することに成功した。温度操作実験によって開花遺伝子の温度応答性を分析し、開花遺伝子制御の数理モデルに導入することで、野外の複雑な変動温度環境のもとでも遺伝子発現量の季節変化を精度良く予測する手法を確立した。

新しく開発されたモデルは、春化において重要な開花調節遺伝子 FLC 遺伝子とフロリゲンとして知られる FT 遺伝子という、たった二つの遺伝子で構成されたシンプルなモデルであるにも関わらず、複雑な自然条件で観察された遺伝子発現量の季節変化と、開花の開始および終了時期を精度良く再現することが可能であった。将来の地球温暖化によって開花時期に生じる変化を予測したところ、開花の開始および終了時期の双方が温暖化とともに早期化することが示されたが、開花終了時期の前進が開始時期よりも早く進むため、開花期間が温暖化とともに短縮され、最終的には約5℃の温度上昇によって開花すらしなくなることが予測された。

ブロッコリーや大麦など、我々の身近な作物は類似した開花遺伝子の制御関係を保存しているため、私の開発した手法を直接応用することが可能である。このことは、地球温暖化に対して、自然生態系だけでなく、農業生態系がどのように応答するかを予測する技術を提供できることを意味しており、今後、生物多様性の維持や安定した食料生産に繋がるグリーンイノベーションに幅広く役立つことに貢献したい。

脳波を用いた感性評価と実システムへの適用

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 准教授

満倉 靖恵



脳の研究は古くから大変多くの研究が盛んに行われている。脳の研究は大きく3つの分野に分けられる。疾患部分やてんかんなどの症状を検出する医学分野、リハビリや脳の局在化に関する研究を行う理学分野、さらには脳波で機械を操作

するシステムを構築するなどの工学分野である。私は特に工学分野で研究を行ってきた。脳を知る方法は血流量を測る光トポグラフィ、血中酸素濃度を測る NIRS 装置や、脳の磁気を計測する脳磁図、血流動態反応を視覚化する fMRI 装置などが有名であるが、それらに次いで脳波を測る装置（脳波計）も有名である。脳波計と言えば多くの人がキャップ型でヘッドギアのようにする装置を想像するが、私は装置の小型化に



図1 左：開発した脳波計測装置 右：従来の脳波計測装置

注目し、小型脳波計測装置を開発することで大型と同等の信号を得ることに成功した。（図1）

ところで、アルファ波やベータ波と呼ばれる脳波は、その周波数帯域によって付けられた名称である。集中すればアルファ波が大きくなり、イライラするとベータ波が大きくなる、という言葉に代表されるように、これまでの研究はその周波数帯域で話が進められてきた。ところがこの周波数帯域を使って集中やストレスを測ろうとすると、あまりにも大まかな分類であるため、その精度は40パーセントにも満たない。私はこの点に注目し、まず脳波を帯域（アルファ波やシータ波など）に分類することなく、固有の周波数で眠気がある場合には OHx (O, X共に数値) の組み合わせが重要である、ストレスを感じる際には OOHz と XXHz (OO, XX共に数値) の組み合わせが重要である、などの組み合わせを検出することに成功した。この結果、ストレス度、興味度、関心度、快適度、眠気、集中度、好き度を検出することが可能になった（図2）。

これらを利用して今後はALS（筋萎縮性側索硬化症）患者などが話をできなくとも思ったことを脳波で読み取り文



図2 左：ストレス度、興味度、関心度、快適度、眠気、集中度、好き度を検出できる装置 右：モバイル型脳波計測装置

字にできる装置を開発する予定である。

世界の女性との連携

国際女性デーによせて —公開講演会「女性と子供の人権 II」—

女性の地位委員会 山下いづみ

去る3月1日、女性就業支援センターにおいて、公開講演会を女性の地位委員会担当で開催した。国際女性デー(3月8日)によせて、特に「女性と子どもの人権」を重要課題として、それぞれの立場で活動を行っている3名の方々にご登壇いただいた。阿部幸子会長からJAUWの歴史、活動紹介の後、鷺見八重子理事、第67・68回国連総会第3委員会日本政府代表顧問から、臨場感たっぷりに国連会議に参加の際の各国代表の意見、ロビー活動などを聞いた。次に、丸山庸子元会長、国際人権規約完全実施促進連絡会議役員から人権について日本の現状を、過去に遡り聞くことができた。1973年に結成された団体の経緯、活動から、人権を尊ぶ並々ならぬ意思が感じられた。最後に、田中正子元会長・日本女性監視機構代表から、具体的な数値を上げて、世界、日本のジェンダーの視点でみたMDGs(ミレニアム開発目標)の成果や課題、また、今後の動きについて紹介をいただいた。国連、世界という大きな視点からイメージする人権と、その一方で、講演者のひとつひとつの言葉をたどっていくことが大事であるというエッセンスが盛り込まれていた。参加者の今後の社会活動に大きな弾みになることを期待します。

CSWに参加して

国際教養大学1年 中島亜花莉

NYへ出発する前、CSWが女性にかかわる様々な問題を扱う場であると聞いて私が想像したのは、不平等に苦しむ悲しげな女性たちの訴えの場であるというものでした。しかし実際には、世界中の女性たちは自信に満ち溢れており、むしろ将来を明るく見据えていました。そのような力強く賢い女性たちと、少数ではあるものの共感的で協力的な男性たちの発表には心を揺さぶられるものがありました。今回私はCSWの参加を通して、改めて女性として生きることを意識しました。これから先、女性であるが故に理不尽な状況に置かれることも多くなると思います。しかし、



NY CSW会場

今後さらに知識を蓄え、しなやかにそして遅く、それらを乗り越えて行こうと考えるようになりました。

今回このような貴重な機会を与えてくださった大学女性協会の皆様にお礼を申し上げます。

ジェンダー平等と女性のエンパワーメント —第68回国連総会第3委員会に出席して—

日本政府代表顧問 鷺見八重子

2013年10月7日から11月1日まで日本政府代表顧問として第68回国連総会第3委員会に出席しました。

今回の会議は、国連本部地下のカンファレンスルームで行われ、議長はブルガリアのタフロヴ大使が務めました。Paper-Smart Systemが導入され、ステートメントは原則として紙で配布されなくなりました。第3委員会では審議される10項目の議案のうち私は昨年同様、5議案について日本政府のステートメントを読みました。

「社会開発」では障害者、若者、高齢者がキーワードですが、特に今回は若者の国際的活躍に焦点をあて、「青年海外協力隊」や大学生の「国連ボランティア活動」を紹介しました。「女性の地位向上」では、女性の能力開発、女性の健康・保健、女性の平和と安全保障の分野に3年間で30億ドルの支援をするという安倍首相の施策が注目を集めています。

「児童の権利」ではハーグ条約締結により国内法が制定され、今後の具定例をフォローする必要があります。「先住民の権利」では、民族共生の象徴となる空間Symbolic Space(北海道白老町)の2020年オープンに向けての閣議決定、さらに小・中・高校教科書にアイヌ関連の記事を載せるなど具体的な施策を披歴し好評でした。

今年の第3委員会の特徴としては、一つには「答弁権」の行使が減ったことがあります。どの国もミレニアム開発目標(MDGs)がどこまで達成できたか、そしてポスト2015の目標について熱心に語り、他国を非難するどころではなかったようです。もうひとつは「人権」が強調された点です。貧困は人権侵害の根底にある最大の問題であり、女性と女兒に対する暴力根絶が喫緊の課題として掲げられました。Phumzile Mlambo-Ngcuka事務局長(元南ア共和国副大統領)が率いるUN Womenの働きが期待されます。



ムランボ=ヌカUN Women事務局長(右)とニコル・アメリン女性差別撤廃委員会議長(左)

委員会報告

ジェンダー平等教育と家庭科教育 教育委員会委員長 長田 満江

この度、教育委員会は大学女性協会の8支部と協働で、高校生と大学1・2年生及び高校の家庭科担当教員を対象にジェンダー意識と家庭科教育についてのアンケート調査を行い、同時に高校で使用されている家庭科教科書についてどのように男女平等教育を取上げているか、検討した。

アンケート回答数は高校生が7,659、大学生が2,426、教員が72で、調査対象の都府県は17となっている。

今回の調査は、国際的比較において日本女性の社会的地位が非常に低い背景に、男女の固定的性別役割分業意識が社会に根強く残っていることがあり、その意識改革には男女平等教育が重要で、高校における家庭科教育はこの点でどのような役割を果たしているか、明らかにすることを目的としたものである。

調査によれば、家庭科の授業で、女子の69.4%、男子の59.1%が、あらためて気づいたことがあると答え、その内容の1つに「男女平等」を挙げている。家庭科教育の成果の1つと言えるのではないだろうか。

調査結果は、「ジェンダー平等の視点から家庭科教育を考える—アンケートからみる男女平等教育の現状と課題—」と題する報告書として、2014年3月に刊行した。ご一読下さり忌憚のないご批判、ご意見などお願いしたい。

「国内 NGO 委員会」最後の仕事 委員長 五十嵐康子

「国内 NGO 委員会」は2000年、国際第2委員会（1962年設立）を改称し出発しました。今年の総会で女性の地位委員会と合併し「女性エンパワーメント委員会」となりましたがこの14年間、ジェンダー平等や女性の人権が侵害されている元凶は何なのかを追及し、調査・研究発表を行ってきました。その一環として、2012年度は「全国地方議会女性議員」、2013年度は「全国地方議会男性議員」へのアンケート調査をJAUW20支部（+千葉と山梨個人参加）との協働で行い、女性議員196名、男性議員130名からの回答を得、分析結果を2013年岡山でのセミナーで報告しました。このアンケート調査から、(1) 女性政治家の育成、(2) クオータ制の推進、(3) 政治への関心を高める教育、(4) 真の男女平等・民主主義教育の推進を提言としてあげています。(1)に関しては、市川記念会女性と政治センター主催による女性議員を増やす全国キャラバン（4/19・20）を長崎支部が共催し成果をあげました。同じ企画が金沢支部共催で催されます（7/11・12）。調査・研究が実践につながった思いがします。この報告書を「国内 NGO 委員会」の最後の仕事として発行できたことは望外の幸せです。調査に関わった皆様に感謝いたします。

講演会 社会福祉委員 縄田真紀子

高等教育機関における障害学生の支援のあり方
—発達障害を中心に—

講師 東京学芸大学教授 高橋智

社会福祉委員会は奨学事業を担当しています。社会福祉奨学生募集の折、大学から「発達障害を持つ学生も応募できますか」との問い合わせがあります。大学女性協会の応募資格に該当せずお断りをしていましたが、発達障害を持つ学生さんが多いことを改めて知りました。また、障害についての知識の浅いことを痛感し、教育委員会と事業委員会Dの協力を得て、2月28日標記の講演会を開催しました。

高橋智先生は、特別支援教育がご専門（2012年度一般奨学生田部絢子さんの指導教官）です。「発達障害とは」から始まり、身近な問題であること、早期発見と早期対応、当事者のニーズから学んだ適切な教育支援が大切であることを数々の事例をあげ分かり易くお話いただき、参加者一同沢山のことを学びました。発達障害支援について大きく取り上げられるようになってまだ20年とのこと、小さな関心も集まれば大きな支援につながることでしょ。



高橋智氏

ホームページリニューアルに伴うご報告 副会長 梅田 和子

昨年6月にHP検討委員会が発足しました。その後ほぼ月に1度会議が開催され、基本方針が纏まった10月に3社に見積を依頼、(株)タブコムに外注することが決定しました。

11月からはタブコムの担当者へ出席願ひ、HPのあり方を議論しながらページ毎にイメージの調整を図り、アップすべき情報をタブコムへ送付、今年1月初めに新HPのサンプルの提示がありました。その確認作業を行い、2月中旬の公開を決定しました。

私が会員のみなさまとタブコムとの窓口を務めることになり、毎月中旬・下旬に更新を行うことになりました。

そのため更新情報を10日・25日までにメールでもらうことに決定、5ヶ月が経過しました。

会員のみなさまのご協力とタブコムの迅速な対応で順調に稼働できました。

これからはHPを会員のみなさまの情報共有の場としてまたこれまでのセミナー等の資料についても活用していただく場にしていきたいと思っています。

今後もみなさまのご協力をお願いするとともに、ご意見・ご要望をお待ちしています。

2013年度 国際奨学生報告会・2014年度 選考結果

ユリアナ・ホロトバさん（スロバキア）
 シティ・フスニア・チュミランさん（マレーシア）

国際奨学委員長 廣田 里子

3月6日、ホロトバさん（スロバキア出身、考古学専攻）の研究報告会を行った。法政大学沖縄文化研究所の屋嘉宗彦所長の厚意で、最新機器が整備された同大学スカイホールでの開催となった。最初に、屋嘉先生からご専門のマクロ経済学の目でみた沖縄の文化と歴史について示唆に富む話をお聴きした後、ホロトバさんが登壇、先史時代から現代にかけて培われた琉球神道の基本構造を報告した。豊富な出土品や遺跡等のスライドを活用し、1時間かけた日本語での発表はよく整理されすっきりと仕上がっていて今後の進捗が期待できる内容だった。余録はスロバキアの魅力ある写真の紹介だった。報告会終了後、屋嘉先生の案内で研究所の書庫を見学、沖縄の複雑な現状にも話が及び参加者一同、貴重な時を過ごした。

一方、京都大学での報告会開催を3月初めに設定していたシティさん（マレーシア出身、東アジアの気象観測）は、4月出産予定のためレポート提出で報告会に代えることとした。ホストの山本衛先生（京大）の配慮で研修計画をこなし京都での国際学会にも参加、また当協会京都支部との交流会に度々参加したりして来日のチャンスを活かした。

オルガ・マシェディさんは使命感に燃えたケニア中央医学研究所（日本のODAなどで1979年に創設された東アフリカ全域を包括する医学研究拠点）の中堅研究員、いまはカビ毒感染症の撲滅に取り組んでいる。主食の穀物に付着したカビ毒で毎年多数の犠牲者が出る母国の現状を踏まえ学校や家庭環境の改善を志向する強い決意が評価された。滞在先の千葉大学真菌医学研究センターはこの分野の国内唯一の拠点として広くグローバルに活動している。

一方、チェンマイ大学医学部大学院生のシリニャ・タヤさんの最終ゴールはタイに広く分布する緑藻を使ったガンの化学予防薬の開発。手はじめに大阪市立大学で病理組織学とタンパク質の構造、機能の分析技術の習得に励む予定。



ホロトバさんと屋嘉宗彦研究所長を囲んで

2014年度国際奨学生選考結果

今年度の奨学生2名が6月の理事会で決定した。

音楽会報告

初夏のピアノコンサート「浪漫への誘い」 田辺 光子

6月19日（木）午後2:30～、東京ルーテル市ヶ谷センターにおいて佐藤千佳さんによるピアノ演奏会「浪漫への誘い」がJAUW主催で行われました。戻り梅雨の晴れ間とかで、天候にも恵まれ、歴史あるホールの重厚な雰囲気の中で、佐藤千佳さんの爽やかで若々しいピアノの演奏を楽しみました。

第1部はショパンのバラードで始まり、ノクターンからスケルツォと静かな雰囲気から軽快な演奏へと皆様楽しんでいただけたと思います。

第2部はドビッシェの「子供の領分」—愛娘のための親心を奏でる組曲、リストの「伝説」—聖フランチェスコの業績を讃える音楽と千佳さんの曲についての解説があり、皆様にはより演奏に親しみを持っていただけたようです。

最後に、アンコールとして、映画「船の上のピアニスト」で有名になったショパンのノクターンが、会場にゆったりと流れ、心に沁みる午後のひと時となりました。



曲の説明をする佐藤千佳さん

東日本大震災チャリティーコンサート 高田 武子

7月6日（日）16:30から求道会館において「2大チェロソナタ・リサイタル」が開催されました。

演奏者はピアニストとして揺るぎない地位を維持されてきた広中孝氏と岡山市の歯科医者でチェリストの三船文彰氏のデュオです。曲目は、フランクとラフマニノフのチェロソナタの2曲で、どちらも難曲中の難曲とも言われ、滅多にリサイタルに上がることもなく、私はこの演奏会で初めて聴く曲でした。フランクはベートーベンやワーグナーからも影響を受けた古典的なロマン派オルガニスト、ラフマニノフは言わずもがな超絶技巧のピアニスト。これら作曲家の2曲は、共に豊かな旋律と哀愁を帯びた叙情的な表情がふれる曲で、広中氏の高度テクニックは遺憾なく発揮され、三船氏のゆったりと細やかな表現に、演奏者二人の心から信頼しあい紡ぎ出された暖かさが加わり、求道会館の中に、ロマンの豊かな輝きと爽やかな音響をたっぷりと感じて演奏を終えられました。二度とこの様な音の世界に身を置くことのないであろう（一期一会の）演奏会でした。

演奏後お二人から特設委員会（高校生奨学金）に多額のご寄付をいただきました。



三船氏と広中氏

支部だより

北から～南から

がんばっぺ仙台

仙台支部長 渋谷由美子

Q 最近の支部の活動は？

A 全国総会のあとを受けて、仙台支部も新しい年度をスタートいたしました。最近の支部活動としては、せんだい男女共同参画財団との協働が増えたことです。仙台という土地柄、あまり大都会ではないけど、それなりに都会というのは、一緒に事業を進めるにあたり、役所との連携が取りやすく、支部活動を前進させてくれています。昨年までの協働事業として、「放射能のこと」「鷺見八重子氏による国連の報告会」等を行い、多くの外部の方々にも参加していただき、大きな反響をいただきました。今年度の事業の1つとして、当協会の会員のご主人様がお医者様で、震災時に被災地まで行かれ、多くの亡くなられた方々のケアをなさったと伺い、「避けられた死の根絶を目指して」というタイトルで、講演会を仙台男女共同参画共同事業として行います。

Q ご当地自慢は？

A 仙台の自慢は杜の都と言われるように、町の中に緑の多いことでしょう。仙台駅を降りてすぐ真正面は、一直線に伸びた青葉通りのけやき並木。夏の強く照らす暑い太陽、いつも日傘のように、優しく紫外線から守ってくれます。

Q これから力を入れたいことは？

A 今は何といっても来年の総会に向けて、一致団結というところでしょうか。総会会場、懇親会会場のこと、着々と準備を進めています。震災から4年目となる来年の5月、何事もなかったかのように平和を取り戻した仙台市内と、復興の遅い沿岸部との違いを、ぜひ皆さんにご覧いただきたいと思います。5月は仙台の緑の一番美しい季節です。是非杜の都に足を運んでください。会員一同皆様をお待ちしております。



鷺見八重子氏による国連の報告会

歴史文化の遺産を引き継ぎ

長崎支部長 鈴木千鶴子

Q 最近の支部の活動は？

A 3件の活動をご報告します。昨年6月、本協会の理事鷺見八重子氏のご講演「国連とNYの魅力」を、津田塾大学同窓会佐賀・長崎支部と共催で行いました。次に本年3月に、本支部単独で一般奨学生支部推薦学生荻野妃那さんとの交流会を持ちました。長崎大学に2008年に開設された大学院国際健康開発研究科でグローバル・ヘルスの高度専門職業人を目指す荻野さんは、以前海外青年協力隊の保健師として派遣されていた途上国（ラオス）で実施した研究活動で改めて実感した「スタッフ育成の大切さ」について語ってくれました。4月には、市川房枝記念会女性と政治センターが主催する全国キャラバン「女性を議会へ！」の第1回目を女性議員比率ワーストの長崎で2日間にわたり共催しました。メディアにも取り上げられ、予想を上回る出席者数で、反響がありました。

Q ご当地自慢は？

A 歴史的にヨーロッパ文化に開かれた唯一の窓口として、新しい技術や思想と生活様式を紹介し、日本の近代化に大きな役割を果たした地です。大戦時には原爆投下を受け、その後の日本と世界人類の平和構築に向け発信する役割を担っています。そのような世界の産業文化遺産を受け継ぐ生き方に努力しています。

Q これから力を入れたいことは？

A 支部会員は多くはおりませんが、その一人ひとりの人間として、またプロとしての各分野での活動は極めて活発です。その会員を核として新しい会員を増やしていくことと、他の組織・機関（場合によっては国を越えて）との連携により活動の拡大強化を図りたい。



一般奨学生支部推薦学生を囲んで

2014年 JAUW 主催シンポジウムのご案内

タイトル：「女性の自立とは？」 —女性と税制—
 日 時：11月8日（土）10：00～16：00
 会 場：日本女子大学教育文化振興桜楓会 桜楓2号館
 ＊詳細については JAUW・Web サイトでご覧下さい。

東日本大震災災害地支援事業 特設委員長 高田 武子

昨年度は、高校生奨学金制度を立ち上げて3年目で、初めての支援終了生（高校3年～高等専門学校生の2年間）2人を出すことになりました。終了した2人からは、「月々受け取る奨学金は大変貴重で有り難かった」とのお礼の手紙が届きました。本年度は2名の奨学生を決定し、引き続き12人の奨学生を支援いたします。チャリティーコンサートの収益金に加えて、国内外の会員の皆様や他からご寄付を受け、この事業が大きく支えられている事に深く感謝申し上げます。今後も、どうぞよろしくお願いたします。昨年度の寄付金額は1,085,103円となりました。

お知らせ 事業委員会

- ・アフタヌーンコンサート
 ～世界の名曲玉手箱～
 ソプラノ：伊藤 晴 バリトン：村松 恒矢
 ピアノ伴奏：石坂 幸治
 日 時：2014年11月26日（水） 14：30
 場 所：古賀政男音楽博物館 けやきホール
 チケット：3500円（学生2000円）
 - ・催し物
 《第5回街歩き—旧前田邸と東京大学内レストラン》
 日 時：9月26日（金） 10：30
 《苔玉作り》於事務室
 日 時：11月19日（水） 13：30
 - ・能と狂言
 能「大原御幸 浅見 真州」 狂言「柑子 野村 万作」
 日 時：12月6日（土） 11：00
 場 所：国立能楽堂
- ＊詳細は JAUW 事務室までか Web サイトで。

理事会から

- ▶ 2014年度国際奨学生2名（タイ、ケニア）が決定した。
- ▶ ナイジェリア少女誘拐事件に関する要望書を内閣総理大臣、外務大臣に提出した。
- ▶ 6月17日、国際ネットワーク委員会と神奈川支部との共催で、ニュージーランド協会理事リンダ・ロバートソンさんとの交流会を持った。
- ▶ 6月29日、30日、中村会長、山下 CIR が IFUW アジア地区ワークショップに参加した。
- ▶ 梅田副会長を委員長とする HP 管理委員会が立ち上がった。
- ▶ 事務所の夏期休業期間 8月13日（水）～19日（火）

2014年度国内奨学生募集のご案内

一般社団法人 大学女性協会 2014年度国内奨学生募集要項

- I 応募資格
- 一般奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、学業人物ともに優れた者。
 - 社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学の学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障害があり、かつ学業人物ともに優れた者。
 - 安井医学奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、医学・歯学・薬学を専攻し、かつ学業人物ともに優れた者。
- ＊備考
- ・1大学から各部門1名ずつ応募することができる。
 - ・過去に当協会の奨学金を授与された者は、再度応募することはできない。
 - ・在籍年数に休学期間は含まない。
 - ・翌年2月末日に、現在の大学に在籍であること。
 - ・社会福祉奨学生は、身体障害者手帳の交付を受けていること。
- II 支給額および募集人数
- 一般奨学生 大学院生 20万円 6名
 - 社会福祉奨学生 学部生 10万円
 - 大学院生 20万円 学部生、大学院生合わせて3名以内
 - 安井医学奨学生 大学院生 30万円 1名
- ＊備考
- ・応募状況により奨学生人数を変更することがある。
 - ・奨学金は1回限りである。
- III 提出書類（ホームページからダウンロードして使用のこと）
- (1) 履歴書（写真貼付）
 - (2) 一般社団法人大学女性協会国内奨学生推薦書
 ・記入者は在籍する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること。
 ・学長氏名・印又は奨学金担当者職名・氏名・印が必要。
 - (3) 研究・勉学の内容について
 ・大学院生は様式 A
 ・学部生は様式 B
 - (4) 研究および活動業績リスト
 ・大学院生のみ
 - (5) 学業成績証明書
 ・在籍する（直近に在籍した）大学院（学部生は大学）のもの。
 - (6) 身体障害者状況報告書と身体障害者手帳の写し
 ・社会福祉奨学生のみ
- ＊備考
- ・(1) (2) (3) (4) (6)は、所定の様式に従う。
- IV 応募方法および締切り
- 応募者は、応募書類を在籍大学へ提出する。大学は一括して2014年8月29日（金）（必着）までに、支部が設置されている道府県の大学は当該支部に、支部が設置されていない県の大学は本協会本部に、応募書類を提出すること。
- V 結果通知
- 選考結果は、本人・大学学長・推薦支部長に2014年11月末日までに通知する。
- VI その他の留意事項
- (1) 一般奨学金、社会福祉奨学金、安井医学奨学金を授与された者は2016年3月31日までに本協会会長宛に「研究成果報告書」を提出すること。
 - (2) 国内奨学金贈呈式は2015年1月の予定。（詳細は後日通知する）
 - (3) 東日本大震災被災者は、その旨を履歴書・自己紹介書の該当欄に記載することができる。
 - (4) 不明の点は当協会又は当該支部に照会のこと。
- 本部 e-mail kokunaifellowship@jauw.org（国内奨学担当）

新入会員 理事会承認 2014年4月～6月

- 札幌支部 鈴木千佐子 仙台支部 吉川 貴子 東京支部 甲斐知恵子
- 東京支部 河井 尚子 東京支部 中村 敦子 東京支部 満倉 靖恵
- 愛知支部 小川 好美 愛知支部 下川 郁子 愛知支部 箕浦 洋子
- 愛知支部 森 真由美 愛知支部 横山 友里 大阪支部 和辻 敏子
- 神戸支部 藤尾 礼子 岡山支部 神岡美保子

一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101
 電 話 03-3358-2882 F A X 03-3358-2889
 http://www.jauw.org E-mail:jauw@jauw.org
 発行人 中村 久瑠美 編集責任者 端本 和子
 発行日 平成26年7月22日